

## 目標達成計画

作成日: 平成30年 4月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ホームの理念が徹底されていない	ホームの理念にそったケアを心がける。 ・家庭的な雰囲気の中で生活する。 ・個々の尊厳を考え安心出来る生活 ・地域の交流の中で人とのふれあい、笑顔のある生活を送る。	・毎朝の朝礼時に理念を参照しケアに取り組む職員へ周知徹底し実践する。 ・利用者様の個々の尊厳を大切にする。一日を振り返り出来なかった事は再度、実践する。	6ヶ月
2		地域との交流が上手く出来ず利用者様の外出される機会が少なく支援が出来ていない。	地域との交流 定期的な外出や散歩(買い物・ドライブ・食事)等	・地域の催事には利用者様と参加させて頂く。 ・月に1回、地域の清掃活動する。 ・ホームの案内を地域に向け発行する。 ・地域の老人会の催事への参加、地域の方々との交流を図れる場を作る。	6カ月
3				・企画委員を決め、毎月の行事の計画を決める。 利用者様個人の状態の応じた対応を考える。	ヶ月
4		身体拘束をしない為の実践やケアが出来ていない	今後も身体拘束を行わない為の実践の場を作る。	・身体拘束について全職員が正しく理解できるように定期的に研修を行い周知徹底する。 ・身体拘束等の適正化の為の指針を整備する。 ・毎朝の朝礼時に指針について確認し職員は身体拘束をしないケアに取り組む。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。